

0 A B ~ J 番号に関する検討の進め方（案）

0 A B ~ J 番号の今後の需要及び番号ひっ迫対策について、以下のとおり検討を行う。

1 0 A B ~ J 番号の今後の需要調査

0 A B ~ J 番号（全番号区画）について今後の利用予定を調査（アンケート形式）

（1）対象事業者

現在0 A B ~ J 番号を利用している、あるいは今後利用予定の電気通信事業者。

具体的には、電気通信事業者協会、日本ケーブルテレビ連盟、テレコムサービス協会の会員企業のほか、これらの団体に所属していない事業者のうち、事務局で選定した主な事業者を対象とする。

（2）調査対象・期間

0 A B ~ J 番号の1年後、3年後、5年後、10年後、20年後の利用予定数（現時点で予測可能な範囲のもの）

2 データ分析及び番号ひっ迫対策シミュレーション

- ・ 事務局で各事業者から提出された回答のとりまとめ・データ集計を行う。
- ・ ワーキンググループの下に作業分科会を設置し、データ分析及び番号ひっ迫対策シミュレーションを行う。（別添設置要綱参照）

3 スケジュール

- | | |
|-----------|----------------------------|
| 1月下旬～2月中旬 | アンケート調査票配布・回収 |
| 2月中旬～3月上旬 | データのとりまとめ・分析・ひっ迫対策シミュレーション |
| 3月中旬 | 調査分析結果をWG（第2回）へ報告 |
| 3月中旬～ | 論点整理、報告書案の作成等 |

作業分科会(アドホックグループ)の設置について(案)

0AB～J番号の需要調査及び具体的なひっ迫対策を検討するにあたり、需要調査、データ分析及び番号ひっ迫対策シミュレーション等の作業を行うため、WGの下に作業分科会を設置する。

1 検討項目

作業分科会は、次の項目について検討し、WGに報告する。

- ① 分析・シミュレーションの手法の検討。
- ② 今後の需要に関するアンケート調査の集計データに基づく①の手法による分析・シミュレーション。
- ③ その他必要な事項

2 作業分科会の構成

作業分科会は、WG構成員から推薦された者により構成する。

(メンバー案)

<五十音順>

- ・ NTTコミュニケーションズ(株)
- ・ (株)ジュピターテレコム
- ・ KDDI(株)
- ・ 西日本電信電話(株)
- ・ 日本テレコム(株)
- ・ 日本電信電話(株)
- ・ 東日本電信電話(株)
- ・ フュージョン・コミュニケーションズ(株)

3 スケジュール

平成17年2月～3月にかけて3回程度開催(3月のWGに報告)。
また、WG報告後も、検討が求められた事項等について必要に応じて開催し検討を行う。

電話番号需要に関するアンケート調査のお願い

近年、固定電話サービスへの新規参入、IP電話の急激な拡大等、固定電話サービスを取り巻く環境が大きく変化しつつあります。

「IP時代における電気通信番号の在り方に関する研究会」においては、固定電話番号（OAB～J番号）のひっ迫に関する検討を予定しておりますが、検討を行うにあたって、まずOAB～J番号の今後の需要を把握する必要があります。

本アンケート調査は、研究会での検討に必要な情報を収集するため、現在OAB～J番号を利用して提供されているサービス、または今後OAB～J番号を利用して提供予定のサービスにおいて、それぞれ利用を予定している番号数を調査し、OAB～J番号全体の今後の需要を把握する目的で行うものです。

御社で現在提供（又は計画）されているサービスを継続した場合、利用するOAB～J番号がどの程度の数となるか、ご回答をお願いいたします。

なお、本アンケート調査の回答内容については、事務局（総務省）で集計の上、研究会ワーキンググループの作業分科会において集計データの分析を行う予定であり、個別事業者の回答内容が作業分科会参加者や外部に知られることはありません。また、ご提出頂いた回答内容については、将来の番号申請手続きを拘束するものではありません。

ご回答については、電子メール（電子媒体）により、**平成17年2月15日（火）まで（必着）**に、下記研究会事務局までお送り頂きますようよろしくお願い申し上げます。

お忙しい中大変ご面倒をおかけしますが、研究会におけるOAB～J番号のひっ迫に関する検討を実りあるものとするため、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【回答提出先・本件問い合わせ窓口】

〒100-8926

東京都千代田区霞ヶ関2-1-2

総務省総合通信基盤局電気通信事業部

電気通信技術システム課番号企画室

「IP時代における電気通信番号の在り方
に関する研究会」事務局

（担当：藤原、益満）

電話：03-5253-5859

FAX：03-5253-5863

e-mail：bango@soumu.go.jp

電話番号需要アンケート調査

1 調査項目

今後のOAB～J番号の利用予定数について

2 対象事業者

現在、OAB～J番号の指定を受けてサービスを提供している事業者、及び今後新たにOAB～J番号の指定を受けてサービスを提供する計画のある事業者

3 対象地域

全番号区画

4 記入要領

上記2に該当する事業者におかれましては、以下の項目について、指定の様式により、ご回答頂きますようお願いいたします。

- (1) 事業者名（登録番号、連絡先）（様式1 Wordファイル）
- (2) 各番号区画（番号区画コード毎）における、平成16年12月末時点の指定済みOAB～J番号の数並びに1年後、3年後、5年後、10年後及び20年後に利用予定のOAB～J番号の加入者数及び必要番号数。（様式2及び3 Excelファイル（別添記入要領参照））
- (3) その他参考となる資料があれば提出ください。（実績データ、サービス提供計画、エリア展開など）（任意の形式で）

以上

御多忙中大変恐縮ではございますが、ご協力方どうぞよろしくお願いいたします。

【様式 1】

電話番号需要アンケート調査（回答）

| | |
|------------------------|--|
| 事業者名 | |
| 事業許可 登録番号又 は届出番号 | |
| 担当者氏名 及び連絡先 | 担当部所名 : 氏名 : 電話 : F A X : e-mail : |

電話番号需要アンケート調査様式記入要領（加入者数）

【〇〇株式会社】 ←（事業者名を記入）

【様式 2】

| 番号区画 コード① | エリア名② | 指定済市内 局番数 (平成 16 年 12 月末現在) ③ | O A B ~ J 番号数の需要予測 | | | | | | |
|--------------|-------|---|-------------------------------------|------------------------|-------------------|------------------------------------|-----------------------|--------------|------------------------------------|
| | | | 1 年後 (平成 17 年度末) | | | 3 年後 (平成 19 年度末) | | | 5 年後 (平成 21 年度末) |
| | | | ポータビリティ 使用数④ (裏番号) (単位: 万) | その他使用 数⑤ (単位: 万) | 計 ⑥ (単位: 万) | ポータビリティ 使用数 (裏番号) (単位: 万) | その他使用 数 (単位: 万) | 計 (単位: 万) | ポータビリティ 使用数 (裏番号) (単位: 万) |
| 001 | 札幌 | 10 | 5.4 | 2.8 | 8.2 | 9.1 | 3.7 | 12.8 | 9.1 |
| 002 | 千歳 | 2 | 0.5 | 0.7 | 1.2 | 0.5 | 0.8 | 1.3 | 0.5 |
| 661 | 瀬戸内 | 1 | 0.2 | 0.5 | 0.7 | 0.3 | 0.5 | 0.8 | 0.3 |
| (合計) | | ⑦ 156 | ⑧ 54.6 | ⑨ 30.8 | ⑩ 85.4 | 56.7 | 36.8 | 93.5 | 58.0 |

＜注意事項＞

- ① 番号区画コード（電気通信番号規則に基づく総務省告示（平成 9 年告示第 574 号）に基づくもの）
- ② エリア名（NTTのMA名。）
- ③ 平成 16 年 12 月末現在で総務省から指定を受けている番号（市内局番数）を記入。（例：「60,000」であれば「6」と記入。）
- ④ 番号ポータビリティの裏番号として利用する番号の数を記入。（例：「53,259」であれば「5.4」と記入。小数点第 1 位まで記入し、第 2 位未満は切り上げ。）
- ⑤ 次の場合における番号ポータビリティを利用しない場合の番号の数を記入。（例：「27,386 件」であれば「2.8」と記入。小数点第 1 位まで記入し、第 2 位未満は切り上げ。）
 - ・該当事業者のサービスに新規加入した等移転を伴わないで使用する番号の使用数。
 - ・NTT東西においては、自社の加入者で番号ポータビリティの表番号として利用する番号の数を含めて算出。
- ⑥ ④及び⑤に入力することにより、合計数（④+⑤）が自動的に表記される（入力不要）。
- ⑦～⑩についても④及び⑤を入力することにより、タテ欄の合計が自動的に表記される（入力不要）。

- ◆ 事業者毎にエクセルファイルを使用することとし、ファイル名は、【事業者名（加入者数）】としてください。
- ◆ 事務局（総務省番号企画室）においては、上記⑤、⑥等の数値を全事業者分串刺し計算し総合計等を集計します。
- ◆ 番号区画が統合されることとなっている区画については、統合年度後は、統合される区画（又は新規区画）の欄に記入してください。（記入不要な欄には「-」と入力してあります。）

電話番号需要アンケート調査様式記入要領（必要番号数）

【〇〇株式会社】 ←（事業者名を記入）

【様式 3】

| 番号区画 コード⑪ | エリア名⑫ | 指定済市内 局番数 (平成 16 年 12 月末現在) ⑬ | O A B ~ J 番号数の需要予測 | | | | |
|--------------|-------|---|---|--|---|--|---|
| | | | 1 年後 (平成 17 年度末) | | 3 年後 (平成 19 年度末) | | 5 年後 (平成 21 年度末) |
| | | | ポータビリティで二重番 号を使用しない場合 の総必要番号数⑭ (単位: 万) | ポータビリティで二重番 号を使用する場合の 総必要番号数⑮ (単位: 万) | ポータビリティで二重番 号を使用しない場合 の総必要番号数⑭ (単位: 万) | ポータビリティで二重番 号を使用する場合の 総必要番号数⑮ (単位: 万) | ポータビリティで 二重番号を 使用しない 場合の総必 要番号数⑭ (単位: 万) |
| 001 | 札幌 | 10 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 002 | 千歳 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 661 | 瀬戸内 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (合計) | | ⑯ 156 | ⑰ 0 | ⑱ 0 | 0 | 1 | 0 |

＜注意事項＞

- ⑪～⑬ 様式 2 に同じ。
 - ⑭ 番号ポータビリティで二重番号を使用しない場合の総必要番号数を記入。（現在の指定市内局番数からの不足分を万単位で記入。
例：「1 万件不足」であれば「1」と記入。万未満は切り上げ。様式 2 の⑤に対応する必要数。）
 - ⑮ 番号ポータビリティで二重番号を使用する場合の総必要番号数を記入。（現在の指定市内局番数からの不足分を万単位で記入。
例：「2 万件不足」であれば「2」と記入。万未満は切り上げ。様式 2 の⑥に対応する必要数。）
 - ⑯～⑱ 様式 2 に同じ。
- ◆ 事業者毎にエクセルファイルを使用することとし、ファイル名は、【事業者名（必要番号数）】としてください。
 - ◆ 事務局（総務省番号企画室）においては、上記⑭、⑮等の数値を全事業者分串刺し計算等し総合計等を集計します。
 - ◆ 番号区画が統合されることとなっている区画については、統合年度後は、統合される区画（又は新規区画）の欄に記入してください。（記入不要な欄には「-」と入力してあります。）
- ◎ 様式 2、3 とともに、エクセル枠（行、欄）の削除等の加工はされませんようよろしくお願いいたします。
（該当のないセルは、空欄でお願いします。）

